

事業報告

令和4年度 県・市町村社会教育委員研修会

日時：令和4年4月26日（火）参加者78名

（県9名、市町村69名、うちオンライン参加者27名）

<研修趣旨>

県及び市町村の社会教育委員が、地域学校協働活動を推進する意義を理解し、果たすべき役割や今後の社会教育行政の在り方について考えることをとおして、主体的に活動に参画する意識を高めるとともに、活動内容の充実を図る。

<研修内容>



【開会行事】開会あいさつ
大分県立図書館 館長 宮迫 敏郎



報 告：「大分県社会教育委員連絡協議会委託事業報告」
報告者：臼杵市社会教育委員 齋藤 理亜 氏

報 告：「大分県社会教育委員連絡協議会委託事業報告」

報告者：臼杵市社会教育委員 齋藤 理亜 氏

「地域力」地域のニーズと可能性とともに

- ① 私たちを取り巻く地域の課題
- ② 社会教育を担う私たちの課題
- ③ 今、できること。今だから、できること。
- ④ 育み成長していくために…

講 演：「学びの循環づくりと社会教育委員の役割」

講 師：日本大学文理学部教育学科 教授 佐藤 晴雄 氏

学びの循環づくりと社会教育委員の役割

- ① 足立区社会教育委員として
- ② 千代田区生涯学習推進員（社会教育委員）
- ③ 地域学校協働活動
- ④ 社会教育委員として地域学校協働活動にどう関わるか



講演：「学びの循環づくりと社会教育委員の役割」
講師：日本大学 文理学部教育学科
教授 佐藤 晴雄 氏

<参加者感想>

- 委託報告では、地域のニーズを拾うことの重要性がわかりました。とても理解でき、納得しました。
- 佐藤先生のお話について、学校教育と社会教育が抽象化と具体的な体験という特徴を持ち、とてもわかりやすく腑に落ちました。両者の特徴を知り、学校教育と協働していくことが相互理解につながり、役割分担できると感じました。
- 社会教育委員として、学校支援活動にどうかかわるか参考になった。
- 地域づくりに関わる人たちをつなぎ、課題解決のために共に取り組んでいく意義を確認した。
- リモート発表、講演はコロナの時代には効果的でよいが、その運営技術が修得できていない会は途切れ途切れになり逆効果になる。
- リモート講演での理解度が上がらない。文字が画面に出て声のみでは集中力が続かない。中央の方もいいけど実際に会場に来て話せる人を選んで欲しい。満足できなかった。
- 総会・表彰式を午前中に済ませ、午後から研修をして終了時間を早めにして頂きたい。